エコアクション21

認証番号0011722

株式会社日本殖産

2022 年度 環境経営活動レポート

（対象期間　2022年8月～2023年7月）

発行日：2023年12月1日

目　　次

項　　目
【1】あいさつ
【2】環境経営方針
【3】組織の概要
⑴　名称及び代表者名
⑵　所在地
⑶　環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
⑷　事業内容
⑸　事業の規模
⑹　事業年度
【4】認証・登録の対象組織
【5】環境経営組織図及び役割・責任・権限表
【6】許可の内容
【7】廃棄物処理フロー
【8】主な環境負荷の実績
【9】環境経営目標及びその実績
【10】環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容
【11】緊急事態　試行・訓練
【12】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
【13】外部からの苦情等
【14】代表者による全体の評価と見直し・指示

【1】あいさつ

万物の霊長である人間は、すべてを愛情をもって治めるべき自然界のトップの立場です。今日におけるさまざまな地球環境問題は、私達人間が直面する重要な課題であり、人と恵み多い自然とが共生し、その関係がいつまでも持続するように将来を見据えた開発と環境保全が継続されなければなりません。私達は環境に優しい企業としての価値創造を目指し、一人ひとりが常に環境に対する知識・情報を意識して行動することが持続可能な社会づくりへの近道だと確信しております。

【2】環境経営方針

環 境 理 念

持続可能な社会を構築していく一員として常に環境意識を高め、自然と人との繋がりを大切にし、本業である産業廃棄物処理業(産業廃棄物収取運搬・産業廃棄物中間処理)、一般貨物自動車運送事業、有機肥料の製造・販売、土壌改良材・有機農業資材の販売に係わる全ての活動、製品及びサービスの環境影響を改善するために、全組織を挙げて環境負荷の低減及び環境保護に努力します。

環境保全への行動指針

1．次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

① 電力及び燃料(ガソリン、軽油)の二酸化炭素削減
② 一般・産業廃棄物の削減及び再資源化の推進
③ 安定した肥料化設備の稼働
④ 水の使用量削減
⑤ 環境に配慮した車両を含むグリーン購入の推進
⑥ 社会貢献活動の実施

2．環境関連法規制や当社の約束した事を遵守します。

3．上記の環境経営方針を従業員に対し周知します。

制定日　2016年8月1日
改定日　2020年12月10日
代表取締役　高橋 芳彦

【3】組織の概要

（1） 名称及び代表者名
株式会社日本殖産
代表取締役　高橋　芳彦

（2） 所在地
本　　社　　京都府福知山市字長田小字木戸104番地の41
中間処理施設　京都府福知山市字長田小字西田24番1他10筆

（3） 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者　　業務部長　　安達　健次　　TEL：0773-27-7985
担当者　　経理部　　足立　文

（4） 事業内容
①産業廃棄物収集運搬業　　②産業廃棄物処分業
③一般貨物自動車運送事業　　④有機肥料の製造・販売、土壌改良資材・有機農業資材の販売

（5） 事業の規模
法人設立　　昭和50年8月1日
資本金　　1,200 万円
売上高　　26,785 万円

	本社・業務本部	中間処理施設	合計
従業員	18 名	1 名	19 名
延べ床面積	69 ㎡	1,828 ㎡	1,897 ㎡

＊従業員数に常駐役員含む

受託した産業廃棄物の処理量

収集運搬量	16,754 t		
中間処理量	3,242 t	うち再資源化量	293 t
発酵による水分蒸発量	2,169 t		
施設内保管量(原料、処理中、製品)		730 t	
中間処理後の産廃の処分量	50 t	うち再資源化量	50 t
最終処分量	0 t		

車両台数

車　種	台　数	備　考
アームロール車	9 台	10ｔ車/2台、8ｔ車/4台、6ｔ車/2台、4ｔ車/1台
ダンプ車	6 台	11ｔ車/1台、10ｔ車/2台、8ｔ車／1台、4ｔ車/1台、1ｔ車/1台
ウイング車	3 台	13ｔ車
軽車両	5 台	軽自動車/4台、普通自動車（営業車）/1台 フォークリフト1.5t、2t、3t/各1台
重機	4 台	バックホウ0.1㎥、0.25㎥/各1台 ホイルローダ2台
合計	27 台	

主要設備

名称	台数	備　考
堆肥化施設	1　基	ビニールハウス内での撹拌機による堆肥化
密閉式堆肥化施設	2　基	クリーンコンボC-65ET(自動運転)による堆肥化
培土生産施設	1　基	堆肥と副資材とを撹拌機により混合

積み替え保管施設(なし)

（6） 事業年度　　8月1日～7月31日

【4】認証・登録の対象組織

登録組織名：　株式会社日本殖産
対象事業所：　本社・事務所
　　中間処理施設
活動：　①産業廃棄物収集運搬業　②産業廃棄物処分業　③一般貨物自動車運送事業
　　④有機肥料の製造・販売、土壌改良資材・有機農業資材の販売

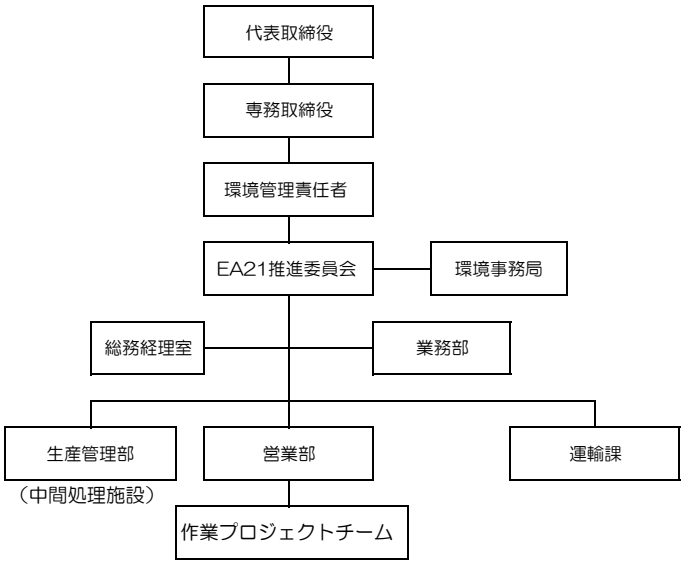
①産業廃棄物収集運搬業

②産業廃棄物処分業

③一般貨物自動車運送事業

④有機肥料の製造・販売、土壌改良資材・有機農業資材の販売

【5】環境経営組織図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定・見直し
	・環境経営目標・環境経営計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直し、指示
	・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境経営目標・環境経営計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
	・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	・環境経営計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
	・時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施
	・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成
	・試行・訓練を実施、記録の作成
	・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

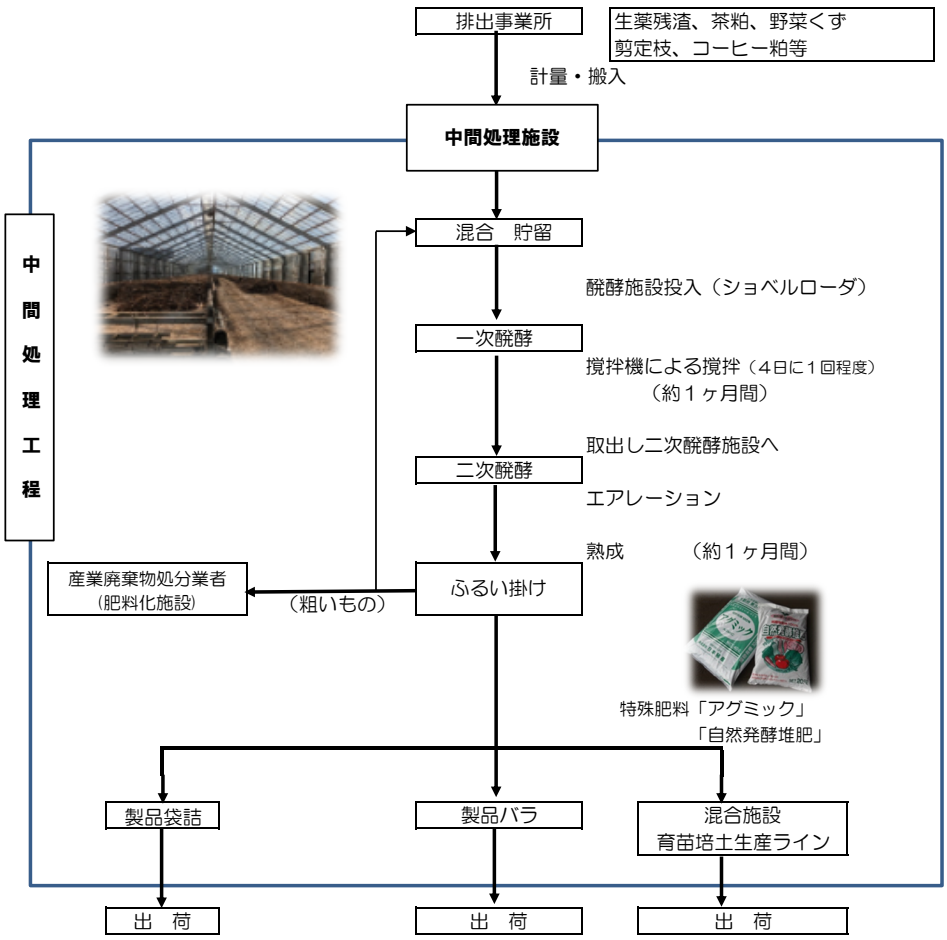
【6】許可の内容

優良認定

種　類	発行者	許可番号	許可の年月日及び有効年月日	産業廃棄物の種類														
				燃えがら	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	ゴムくず	金属くず	ガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くず	がれき類	ばいじん
産業廃棄収集運搬業	京都府	02601032866号	2023年5月9日 火曜日 2030年4月1日 月曜日		●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
	兵庫県	02807032866号	2017年9月1日 金曜日 2024年8月31日 土曜日		●	●	●	●	●	●	●		●		●	●	●	
	石川県	01709032866号	2019年8月18日 日曜日 2026年8月17日 月曜日		●	●	●	●	●		●		●	●	●	●		●
	福井県	01807032866号	2019年9月8日 日曜日 2026年9月7日 月曜日		●	●	●	●	●		●		●		●			●
	鳥取県	03104032866号	2023年5月10日 水曜日 2030年5月9日 木曜日		●	●	●	●	●				●					
	大阪府	02700032866号	2017年11月5日 日曜日 2024年11月4日 月曜日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	三重県	02400032866号	2017年11月26日 日曜日 2024年11月25日 月曜日		●	●	●	●	●		●		●		●			
	岡山県	03306032866号	2022年6月21日 火曜日 2029年6月20日 水曜日		●	●							●					
	富山県	01604032866号	2022年10月6日 木曜日 2029年10月5日 金曜日		●								●					
	滋賀県	02501032866号	2017年1月25日 水曜日 2024年1月24日 水曜日		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
	徳島県	36000032866号	2019年9月2日 月曜日 2026年8月24日 月曜日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	愛知県	02300032866号	2018年11月28日 水曜日 2025年11月27日 木曜日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
	岐阜県	02100032866号	2018年12月2日 日曜日 2025年12月1日 月曜日		●	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	
	奈良県	02900032866号	2022年9月26日 月曜日 2029年9月25日 火曜日		●				●				●					
産業廃棄物処分業	京都府	26210032866号	2023年5月9日 火曜日 2030年4月1日 月曜日		●								●					

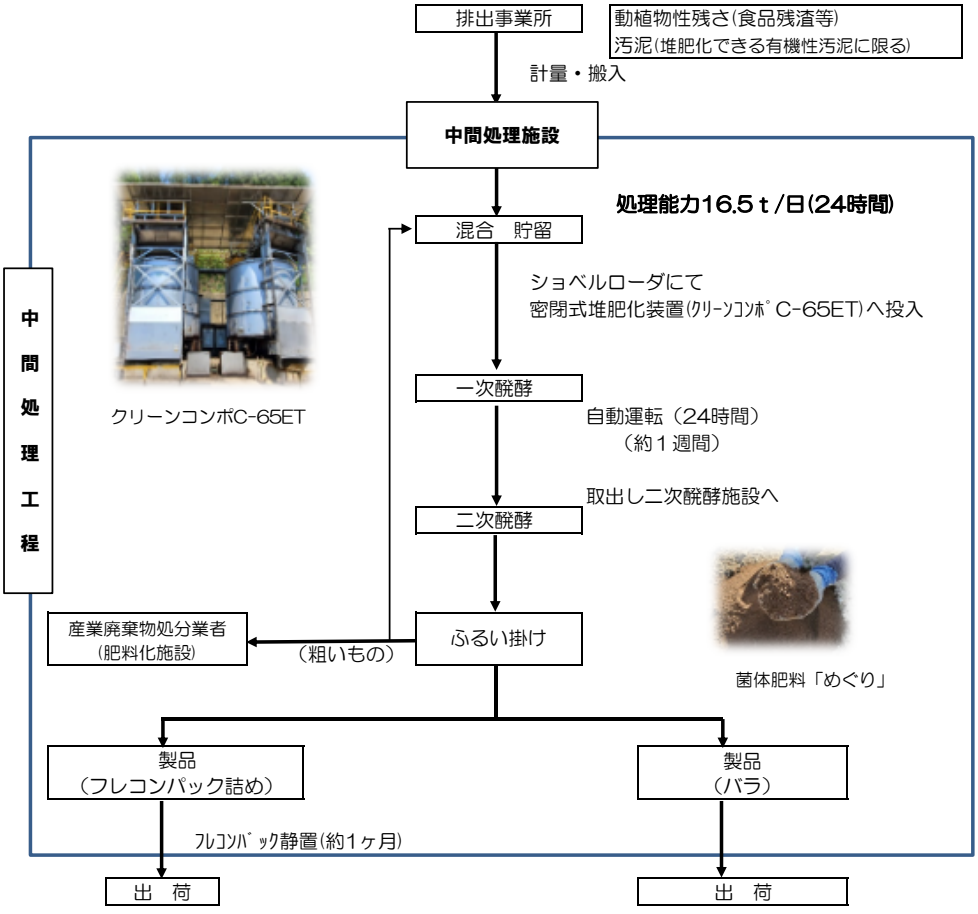
【7】廃棄物処理フロー

施設①：堆肥処理場　　＜　中間処理フロー図　＞



施設②：密閉式肥料化施設（クリーンコンポC-65ET）

＜　中間処理フロー図　＞



【8】主な環境負荷の実績

項　目	単位	2020年	2021年	2022年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	814,689	755,098	757,006
受託収集運搬量	トン	16,176	16,483	16,754
受託中間処理量	トン	2,791	2,895	3,242
受託最終処分量	トン	0	0	0
廃棄物排出量	トン			
一般廃棄物排出量	トン	0.52	0.49	0.46
産業廃棄物排出量	トン	3.91	3.06	3.20
水使用量	m^3	―	―	―

※二酸化炭素排出係数　　0.35　kg-CO2/kWh
①受託収集運搬量は、自社収集運搬量全量を示す。
②受託中間処理量は、自社収集運搬量と他社収集運搬量の合計を示す。
③総排水量については、雨水、地下水利用でメーターがなく把握できない。

【9】環境目標及びその他実績

環境目標		基準値	2022年			2023年	2024年
		2021年	目　標	実　績	達成率	目標	目標
電力による二酸化炭素排出量削減	kWh	189,298	187,405	183,848	102%	185,512	183,619
	kg-CO2	66,254	65,592	64,347		64,929	64,267
排出係数　0.4	基準年度比		99%	97%	○	98%	97%
軽油による二酸化炭素排出量削減	ℓ	264,735	262,088	266,158	98%	259,440	256,793
	kg-CO2	683,016	676,186	686,688		669,356	662,526
排出係数　2.6	基準年度比		99%	101%	×	98%	97.0%
ガソリンによる二酸化炭素排出量削減	ℓ	2,512	2,487	2,574	97%	2,462	2,437
	kg-CO2	5,828	5,770	5,972		5,711	5,653
排出係数　2.3	基準年度比		99%	102%	×	98%	97%
一般廃棄物の削減	kg	490	485	460	105%	480	475
	基準年度比		99%	94%	○	98%	97%
産業廃棄物（廃プラ）の削減	kg	4,320	4,277	3,204	133%	4,234	4,190
	基準年度比		99%	74%	○	98%	97%
堆肥化適正受託量の維持	t	―	2,895	3,242	112% ○	2,895	2,895
水の使用量削減	水量は把握できないため節水に努めてます						
グリーン購入の推進	物品購入時はできるだけ環境に配慮したものを採用しています						
社会貢献活動回数	回		12	12	100% ○	12	12

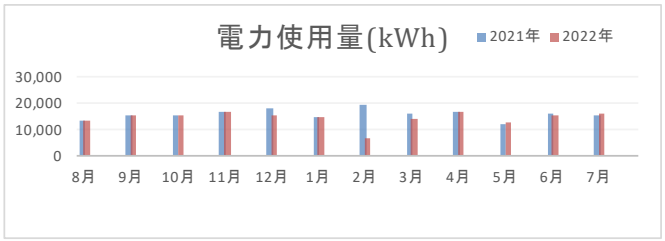
【１０】環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：〇達成　×未達成

活動：◎よくできた　〇まあまあできた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取組計画	達成状況	取組状況の評価と次年度の取組計画
数値目標	〇	期を通して電力削減に向け努力することができた。事務所等においては適正なエアコンの使用やこまめな電源スイッチのオン・オフなど、小さなことではあるが心掛けることができた。また、中間処理施設での大型機械の計画的運転にも心掛けて取り組むことができた。次年度も削減努力に向けた意識を個々がしっかりと持ち、社内全体で取組みを継続していく。
・空調温度の適正化（冷房２８℃　暖房２０℃）	〇	
・不要照明の消灯	〇	
・夜間照明の適正な点灯時間の設定	△	
・機械施設の計画的な運転	〇	

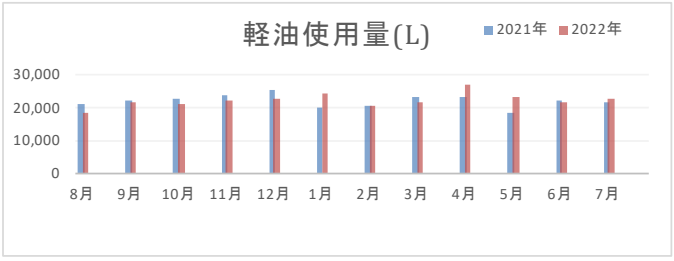
電力による二酸化炭素排出量削減



電力	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	13,482	15,598	15,196	16,378	18,303	14,923	19,428	15,788	16,727	12,022	15,996	15,457
2022年	13,449	15,091	15,448	16,446	15,548	14,703	6,439	13,790	16,574	12,998	15,666	15,737

軽油による二酸化炭素排出量削減

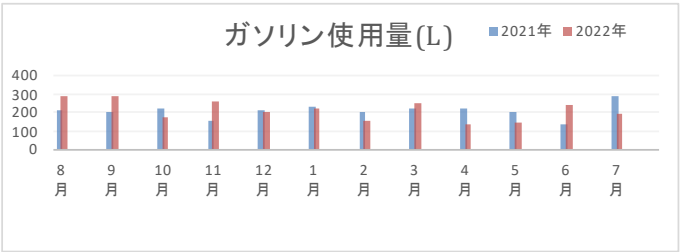
数値目標	×	基準年より使用量が多くなり目標達成に至らなかった。各車両の年間燃費を見てみると基準年度より少し燃費悪化が見受けられるため、今後ドライバーへのエコドライブ教育を再度行い目標達成に向け取り組んでいく。
・エコ運転の実施	△	
・油圧装置操作時における圧力コントロール	〇	
・過積載の禁止	◎	
・車両点検・整備の実施	〇	
・3Sの徹底	〇	
・各車両燃費の把握	◎	



軽油	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	21,144	22,327	22,460	23,969	25,323	19,966	20,300	23,309	23,477	18,483	22,295	21,682
2022年	18,572	21,682	20,842	22,064	22,583	24,216	20,746	21,520	27,018	23,047	21,443	22,425

ガソリンによる二酸化炭素排出量削減

数値目標	×	ガソリン 使用量が少し増加し目標未達成となった。車だけでなくフォークリフトについても今後エコ運転に努めるよう気を配っていきたい。
・アイドリングストップ	〇	
・効率的なルート走行	〇	
・営業車のエコ運転実施	〇	
・フォークリフトのエコ運転及び作業効率運転の実施	△	



ガソリン	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2021年	217	206	220	153	215	228	201	221	222	205	139	285
2022年	293	285	176	264	204	226	153	255	135	143	242	198

一般廃棄物の削減

数値目標	○	個々に少しの削減意識を持ち行動することで、評価が変わってくることが実感できた。モチベーションを保てるよう定期的な環境教育を実施し環境負荷の低減に努めていきたい。
・分別の徹底	△	
・可能な限りの両面印刷の実行	△	
・コピー用紙の裏面利用	○	
・印刷ミスの削減	○	

産業廃棄物（廃プラ）の削減

数値目標	○	今年度は目標達成ができたが、継続して達成できるようこのまま次年度も取り組みを継続していく。
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	
・分別の徹底	△	
・リサイクル業者の開拓	△	

堆肥化適正受託量の維持

数値目標	×	昨年9月に新商品「めぐり」の肥料登録を行い生産、販売を開始した。そのため今後も安定した受入れが可能となるため、営業努力を継続していきたい。
・排出先とのコミュニケーション	△	
・作業効率の安定または向上	○	
・適切な作業工程の実施	△	

水の使用量削減

・配管の適正なバルブ調整	○	節水意識を常に持ち、こまめなバルブの開閉やポンプ等の点検などを行い大切に利用していく。
・節水ノズルの取付け	○	
・節水意識の向上	△	

グリーン購入の推進

・従業員の環境意識の向上のための教育	△	今年度は車両の購入はなかったが、文房具やトイレットペーパー、ティッシュなどエコ商品購入に努めることができた。次年度も継続していく。
・事務用品グリーン購入	○	
・低炭素型車両等の導入	○	

社会貢献活動回数

・1回/月の施設周辺清掃活動	○	毎月行っている周辺道路のゴミ拾いについては、ポイ捨て等以前よりは減少したように感じられるが未だゼロにはならない。根気よく取組みを継続してくこととする。ボランティア活動については今年度はできなかった。機会があれば参加したい。
・不法投棄等の有無確認	○	
・ボランティア活動への参加	×	

【１１】緊急事態　試行・訓練

緊急事態の想定：　　火災の発生

■実施内容：　☑通報訓練　☑消火訓練　☑避難訓練　　実施日：2023/6/27

1.消火器訓練(車両火災)
①各車両の消火器の積載場所を確認
②消火器の使用方法、初期消火方法の確認
③車両バッテリー付近からの出火を想定

2.車両事故対応訓練(燃料タンクからの軽油漏れ)
①三角表示板、発煙筒の積載場所及び使用方法の確認
②車両に常備している液体吸収マットを用いて漏れ出た軽油を除去(一人ずつ実地訓練)
③自社事故対応マニュアルに沿って処理手順の確認
④関係各所への連絡手順の確認

■評価：　　手順書の変更の必要性　□ あり　☑ なし

車両火災、車両トラブル等の種類や規模、発生場所により取り得る対応もさまざまであり焦らず初期対応をとることが必要となってくる。またそういったトラブルの発生リスクを減らすためにも日常点検を怠らず実施するよう努めていく。

緊急事態の想定：　　交通事故対応訓練

■実施内容：事故対応訓練及び教育(2022年度実施分)
〔2022年8月〕危険の予測及び回避(交通事故時の対応)
〔9月〕運転適性に応じた安全運転(自分の特性を知る)
〔10月〕交通事故の生理的・心理的要因と対処法(改善基準告示の概要)
〔11月〕健康管理の重要性(増加する健康起因事故)
〔12月〕適切な運転支援装置の使用方法(運転支援装置とは)
〔2023年1月〕トラックを運転する場合の心構え(トラック輸送の現状)
〔2月〕トラックの安全運行のために遵守すべきこと(貨物自動車運送事業法・輸送安全規則)
〔3月〕トラックの構造上の特性(トラックの形状と性能)
〔4月〕貨物の正しい積載方法(パレットの種類と利用)
アームロール車の安全作業について(作業時のリスクについて)
〔5月〕過積載の危険性(過積載による罰則)
はんなり運転について(歩行者の保護)
〔6月〕危険物を運搬する場合に留意すべき事項(危険物の種類と規制法令)
〔7月〕適切な運行経路とその道路交通の状況(ヒヤリマップの活用)

■評価：　　手順書の変更の必要性　□ あり　☑ なし

日頃からKYT危険予知トレーニングを個々でも行うようにし、とっさの際にも冷静に対応できるよう準備しておく必要がある。また近年増加する健康起因事故の抑制の為にも従業員の健康管理への意識を向上できるよう努めていく。

■実施状況の様子

【１２】環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	収集運搬業、中間処理業、産業廃棄物（廃プラ等）
道路運送車両法	車両の大きさ・重量、乗車の保安基準
道路法	車両の大きさ・重量、通行制限
道路交通法	車両からの積載物のはみ出し、安全運転管理者等
オフロード法	ホイルローダ、フォークリフト
労働安全衛生法（特自検）	ホイルローダ、フォークリフト、バックホウ
自動車リサイクル法	車両
顧客要求事項	優良産廃処理業者の認定

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去３年間ありませんでした。

【１３】外部からの環境に関する苦情等

レポートの対象期間では苦情等ありませんでした。

【１４】代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日： 2023年12月1日

環境レポートについて数字の詳細に至るまでわかりやすく説明してあり評価できる。特筆すべきは【10】環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容で、目標達成には至らなかった項目もあるが継続していくことが肝心であり社内全体の環境意識が低下しないよう設定した目標に努力・継続していくことが大事だと思います。

地球沸騰化といわれる中、環境問題、運送業界における2024年問題や物価上昇にバランスよく柔軟に対応していくことがこの先の大きな課題であると考え、このEA21の取組をベースとし企業の社会的責任を今後も果たしていきたいと思っております。

環境経営方針	☑ 変更なし	□ 変更あり	
環境経営目標・計画	☑ 変更なし	□ 変更あり	ただし実績を踏まえて見直すこと
実施体制他	☑ 変更なし	□ 変更あり	

口環境活動等の紹介

【緑のカーテン】

㈱日本殖産業務本部

【周辺道路の清掃活動】

【感　謝　状】

感謝状

株式会社 日本殖産 様

青組織は長年にわたり環境省が
策定したエコアクション21により
環境経営に取り組まれましたに
よってここに感謝の意を表します

二〇二三年度

一般財団法人持続性推進機構
エコアクション21中央事務局
理事長 森本英香

EA21中央事務局より感謝状をいただきました